

農業  
振興課

### 比婆牛の消費拡大に向け広くPR 比婆牛看板を設置



バックスクリーン横に設置された看板



白地に赤い文字で書かれた比婆牛の看板

広島市内の「MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島」に比婆牛の看板を設置しました。看板設置により、球場を訪れる人をはじめ、テレビ中継で県内外の人へ向けた比婆牛の宣伝効果が期待されます。

市は平成26年度から比婆牛の認証制度をスタートさせ、和牛産地の維持発展を進めてきました。この間、地域団体商標や地理的表示保護制度（GI）に登録され、ブランド力を向上させるとともに、パンフレットやのぼりなどの広告資材の作成、PR看板やデジタルサイネージの活用など、市内外での知名度向上にも取り組んでいます。

今後も比婆牛の消費拡大に向けて積極的にPRを行うことで農家所得の向上を図り、増頭支援や比婆牛取扱店数の拡大など、生産から販売までの基盤の拡充を進めます。

教育  
総務課

### 長い歴史に幕 市内小学校5校で閉校式



児童代表から木山市長へ校旗を返納

本年3月末で長い歴史に幕を下ろすことになった小学校について、2月28日の口南小学校閉校式を皮切りに、美古登小学校、八幡小学校、川北小学校、口北小学校の5校で、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、閉校式を実施しました。

閉校式では、木山耕三市長、各小学校長のあいさつの後、児童代表から市長へ校旗が返納され、全員で校歌を斉唱しました。

市教育委員会は、思考力や表現力とともに、コミュニケーション能力や情報活用能力など「これからの社会を生き抜く力」を身に付け、多様な考えの中で学び合い、質の高い教育活動を創造することができるよう学校教育環境を整えていきます。



校歌を斉唱する児童

西城支所

### 西城小学校子育て支援施設の完成を祝う 西城小学校子育て支援施設完成式



完成した施設

3月24日、西城小学校子育て支援施設の完成式を開催しました。

式典では、市や学校関係者など約30人が見守る中、新施設の完成を祝って、テープカットが行われました。

同施設は、西城放課後児童クラブを実施する施設です。子どもたちの安全を考慮し、西城小学校グラウンド内に建設しました。

完成式終了後は、式典参加者などを対象に内覧会が行われ、参加者は「木のぬくもりを感じる施設だ」「小学校の敷地内なので、公道を移動する必要がなくて安心できる」と話しました。

建設課

### 県道改良で安心安全に 一般県道下千鳥小奴可停車場線の開通祝賀式



2車線に改良された一般県道下千鳥小奴可停車場線



開通祝賀式のテープカットの様子

2月25日、東城町小奴可で一般県道下千鳥小奴可停車場線の開通祝賀式を開催しました。

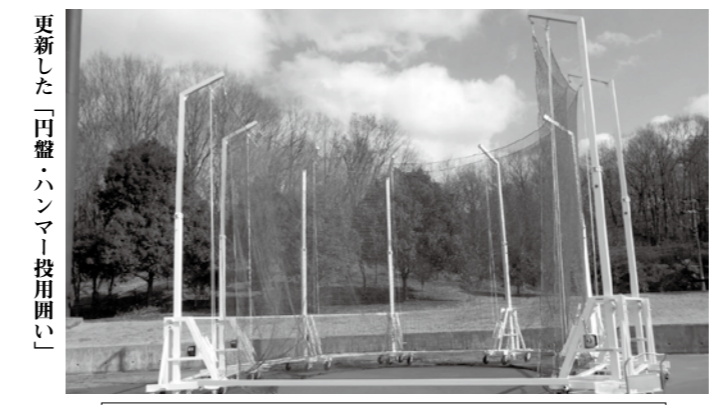
県道下千鳥小奴可停車場線は、東城町小奴可から千鳥までを結ぶ路線であり、沿線には「小奴可小学校」「おぬかこども園」「小奴可自治振興センター」などの公共施設があることから、生活面また防災面においても極めて重要な路線です。

このたび開通した区間は、国道314号から「おぬかこども園」までで、通学路として多くの子どもたちが利用する区間です。市は主要事業要望をはじめ、あらゆる機会を通じ、県に対して区間改良などの要望を粘り強く行っていました。

開通祝賀式では、木山耕三市長をはじめ、県、県議会議員、市議会議員、地元関係者約50人が参加し、市長あいさつと来賓祝辞の後、テープカット、パレードが行われ、開通を祝いました。

都市  
整備課

### 「円盤・ハンマー投用囲い」を更新 スポーツ振興くじ助成金を活用した整備事業



2月2日、上野総合公園陸上競技場へ、新しい「円盤・ハンマー投用囲い」を整備しました。これは、既存の備品が老朽化したことと、最新のルールに適合していなかったことから、スポーツ振興くじ助成金を活用して更新しました。

スポーツ振興くじ助成金とは、スポーツくじ（Toto・BIG）の販売により得られる資金をもとに、地方公共団体やスポーツ団体が行うスポーツ振興を目的とする事業に対して、独立行政法人日本スポーツ振興センターが助成を行っているものです。

なお、既存の備品は県内の高校で、練習用として再利用されています。今後も、地域のスポーツ環境の整備に努めていきます。

行政  
管理課

### 市役所業務の効率化に期待 市職員向けRPAセミナー



セミナーの様子

3月4日、市職員向けにRPAセミナーを開催し、29人が参加しました。

RPAはロボティック・プロセス・オートメーションの略語で、定型業務をソフトウェア型ロボットにより自動化させることにより、業務の効率化が期待されるデジタル技術です。市は令和元年度から2年度にかけてRPAの試行導入を行い、その効果検証を進めてきました。

今回のセミナーは、市役所における今後のRPAの本格導入を見据えて、職員の理解を深めることを目的に行ったもので、受託事業者から講師を迎え、パソコン上での簡単な操作を自動化するロボットの構築と実行を体験しました。

参加した職員は「難しかったが、事務作業のさまざまな場面で利用できそう」と期待を込めました。今後もRPAの導入を含めた行政事務の改善を図り、市民サービスの向上に努めていきます。